

当行（単体ベース）の営業の概況

2022年9月中間期の営業の概況（2022年4月1日～2022年9月30日）

当中間期のわが国経済は、物価上昇や供給面での制約などによる下押しの影響がありましたが、設備投資や生産活動などで持ち直しの動きがみられました。

地元香川県におきましても、供給制約による影響がみられましたが、全体としては持ち直しつつあります。

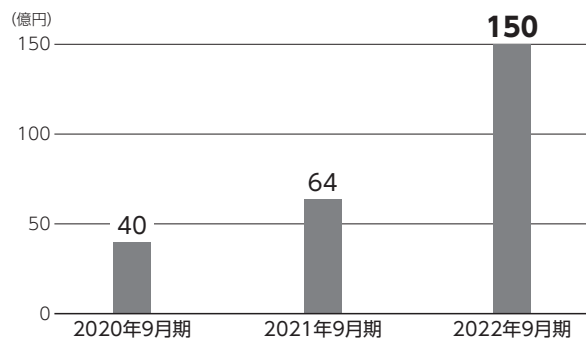
このような経済環境のなか、当中間期の業績等は次のとおりとなりました。

コア業務純益（除く投資信託解約損益）

コア業務純益（除く投資信託解約損益）は、資金利益^{※1}及び外国為替売買益や金融派生商品関係損益などの増加によりその他業務利益^{※2}が増加し、経費も減少したことから、前年同期比86億円増加の150億円となりました。

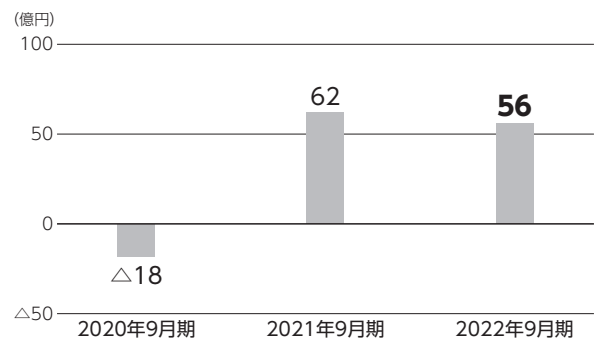
※1 投資信託解約損益を除く ※2 債券関係損益を除く

***コア業務純益（除く投資信託解約損益）とは**
銀行の本来業務からの利益を表す指標



中間純利益

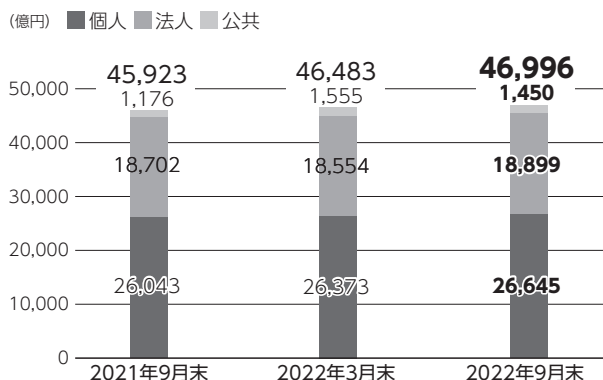
中間純利益は、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は増加しましたが、債券関係損益が減少したことなどにより、前年同期比6億円減少して56億円となりました。



総預金・貸出金の残高推移

●総預金（預金＋譲渡性預金）

当中間期末の総預金残高は、公共預金は減少しましたが、法人及び個人預金が増加したことにより、前期末比512億円増加して4兆6,996億円となりました。



●貸出金

当中間期末の貸出金残高は、法人向け、個人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加したことにより、前期末比1,991億円増加して3兆3,639億円となりました。

